

令和6年度 第1回学校運営協議会記録

1. 日 時 令和6年7月10日(水) 15時00分～16時30分
2. 場 所 本校会議室
3. 出席者 学校協議会委員(出席5名)
・牧野 浩二 ・戸堂 耕造 ・細越 浩嗣
・山口 裕通 ・寺山 薫
4. 議 題 ①審議事項
(1) 令和5年度学校評価 及び 令和6年度学校経営計画について
(2) 教科書採択について

②報告・協議
(1) 生徒在籍数及び追認指導について
(2) 進路状況について
(3) 生徒状況について
(4) 学校行事・部活動・生徒会活動について
(5) PTA活動について
(6) 広報活動について
(7) その他
5. 議決事項 上記の①審議事項(1)(2)については、全委員の賛成により承認された。
6. 協議概要 以下、協議において出席委員から出された主な意見等です。

<学校経営計画に関連して>

○令和5年度学校評価において達成度が△だった項目(朝読、生徒情報共有、教員間の授業見学、生徒の家庭学習時間)に対して、今年度はどのように取り組んでいくか。

→朝読について:朝読のやり方や時程などを見直し、教員に向けて丁寧に説明することで、朝読のよさをまず教員が理解し、その後を生徒に卸していく。

→生徒情報共有について:アンケート等で得られた情報を学年に卸し、担任会などを通して情報共有やフィードバックができるように徹底する。

→教員間の授業見学について:秋に設けている見学期間のアナウンスを徹底し、教員に周知する。

→生徒の家庭学習時間について:マルチタスクが苦手な生徒が増えているので、忙しく感じて

いるのではないかとと思われる。そこで、課題という形で生徒に投げかけることで勉強時間の増加を図っていく。

○学校でのスマホ使用は許されているのか。

→基本的には授業中は禁止。ただし、調べものなど教員が許可した場合は使用できる。また、授業時間外は使用していてもよい。

○中期的目標の中に、文系選抜コースで読解力・表現力を取り入れた国語の授業を展開し、難関大学への合格を目指すとするが、具体的にどのような授業か。また、理系はどうなのか。

→グループワークやペアワークを取り入れた授業を展開していく。理系は理数特化のカリキュラムを組んでいる。しかし、理系での難関大学への合格は難しいのが現状である。

○時代の流れをふまえた進路指導をしていかなければならないのではないのか。

→話し合いを重ね、来年度以降に反映していく。

<進路指導について>

○専門学校や短大に進学する生徒はどの分野に進むのか。また、どのような意欲をもっているのか。

→専門学校は医療や理美容、建築など多岐に渡っている。短大はほとんどが幼児教育に進んでいる。

<生徒会活動について>

○アルバイトを許可しているのか。また、許可しているのであれば何人ぐらいアルバイトをしているのか。

→アルバイトをしないとお小遣いが無くなってしまいうなど、アルバイトが必要な生徒もいるので禁止していない。数に関しては正確に把握していない。

<生徒指導について>

○自転車での通学時にヘルメット着用を義務づけるようなルールはあるのか。

→ヘルメットの置き場など整備できていないことがあるので努力義務にしている。しかし、合格者説明会や集会などで、ヘルメット着用の安全性についてアナウンスをしている。

<入試について>

○来年度の定員は何人なのか。

→大阪府教育委員会の決定次第なので11月中旬まではわからない。

○2月に公立入試をする可能性があることについてどう思うか。

→学校教育審議会にて話が出た。静岡県の入試モデルを参考にしている。

<公立学校の定員割れが目立つ中で今後どうあるべきか>

○保護者のニーズが私立寄りなのではないか。

○私立学校は広報が上手である。

○私立学校に比べて縛りの少ない公立学校は、社会のニーズにアンテナを張ることが必要なのではないのか。